

岡崎嘉平太氏と周恩来元首相

信頼関係や人柄語る

で中央で
講演
岡崎嘉平太氏と周恩来元首相

「岡崎嘉平太がめざした世界平和への道を考える第七回講演会」

(岡崎嘉平太記念館など主催)が六日、吉備中央町吉川、きびプラザで開かれた。周恩来・元中国首相の通訳を務めた王效賢・中日友好協会副会長が、日中国交回復の原動力とな

った岡崎氏と周恩来首相の足跡や人柄を語り、約二百五十人が耳を傾



岡崎氏と周恩来元首相の人柄などを話す王さん

けた。

岡崎氏は同町出身の名誉県民。全日空社長を務め、一九六二年に

始まった日中書貿易の中心的役割を担い、民間レベルで経済交流

を促進。周恩来首相と会談を重ね、七二年の国交正常化へ道を開いた。

王さんは、日中共同声明の調印直前に開かれた、岡崎氏と周恩来首相の会談を紹介。「混乱を恐れず話し合いを続けた岡崎さんの功績を、中国の若者に伝えていく」と周恩来首相が話す。岡崎さんは「どんな困難があってもこの日が必ず来る、と確信していた」と答えた」と説明。二人の信頼関係の強さを強調し

国際医療ボランティア・AMD Aグループの菅波茂代表による講

演「平和に向けて、尊敬と信頼のネットワーク」もあった。

(金尾雅広)